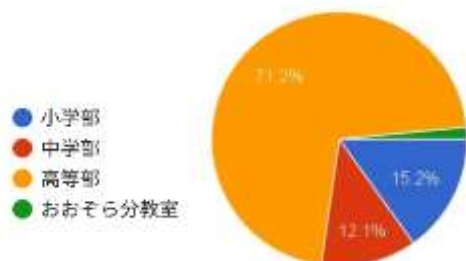


令和 7 年度 学校評価アンケート（保護者） アンケート集計

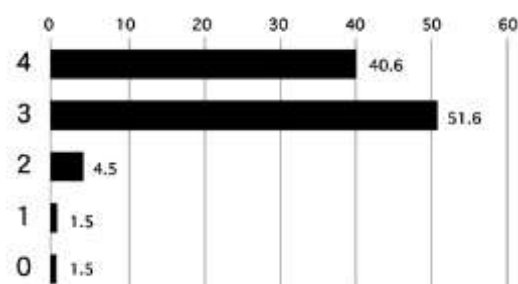
お子様が在籍されている学部を選択ください。



評価基準	4	そう思う（よくできている）
	3	どちらかといえば、そう思う（できている）
	2	あまりそう思わない（あまりできていない）
	1	そう思わない（できていない）
	0	わからない

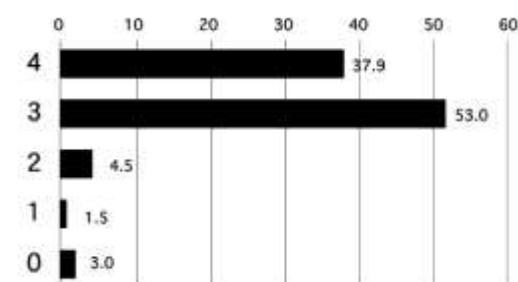
1. 本校は、教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。

➡HP や学部・学年便りなどを通じて、本校の教育活動で大事にしている点や学習のねらいを伝える。



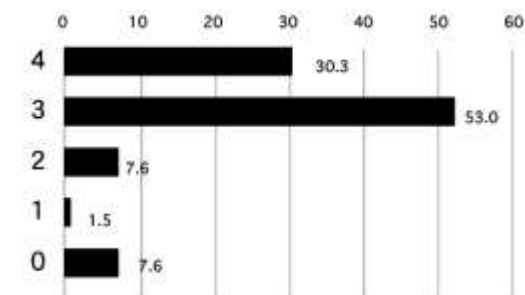
2. 本校は、学校での学習や生活の様子等の情報が、ホームページや学校通信、学部・学年だより等を通じてわかりやすく紹介されている。

➡保護者向けメールサービス「ラクメ」を活用した情報発信を推進している。さらに学部・学年の様子や情報をタイムリーに配信できるよう整えていく。



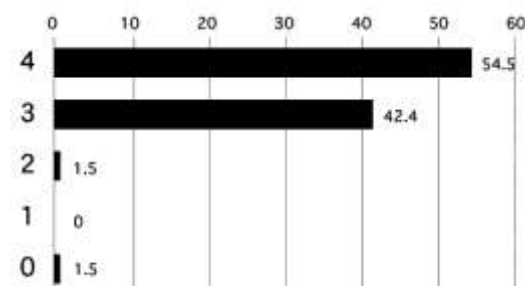
3. 本校は、保護者や地域への情報発信が的確に行われている。

➡コミュニティ・スクールの推進により、支え合う関係性を築いたり地域資源を活用して学習や体験を充実させたりし、地域社会とのつながりを深め、情報を得やすくする。

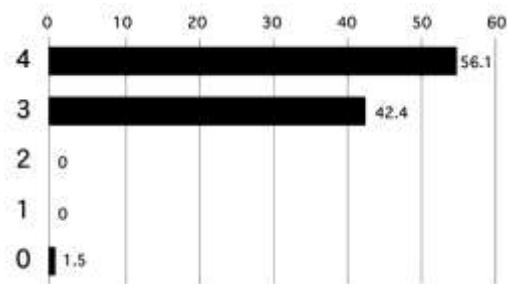


4. 本校は、保護者の疑問や質問等に対して、迅速かつ丁寧に対応している。

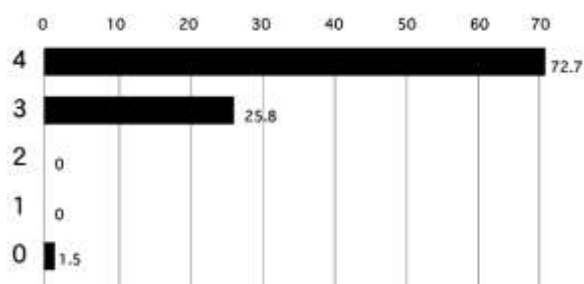
➡学部内での情報共有に時間を要して迅速に行えないところもあるが、丁寧な対応を心掛ける。すぐに対応できない場合は保護者が安心できるよう具体の対応日数を伝える。



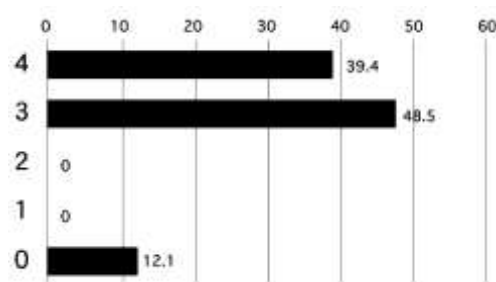
5. 本校は、保護者や学校外の方に対して、参観日やオープンスクール等を適宜実施している。



6. 児童生徒及び保護者の個人情報適切に守られている。

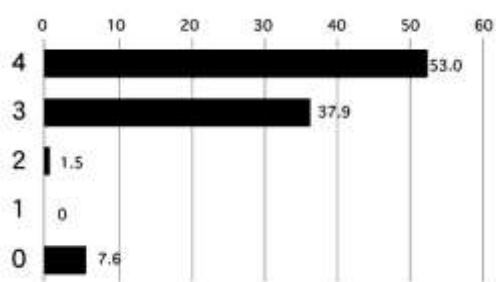


7. 本校は、実践に役立つ避難訓練や防災教育等の取組ができている。



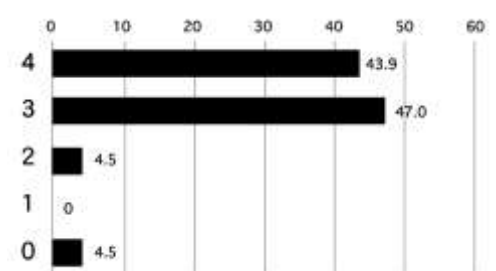
8. 本校は、熱中症予防や感染症対策、日々の健康観察を適切に行う等、保健・衛生管理に努めている。

➡保健や衛生管理の具体的な内容を記した「ほけんだより」を作成・配付する。



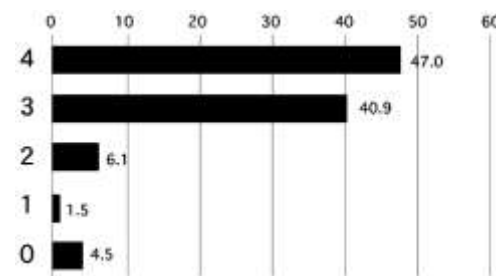
9. 本校の教職員は、障害に対する知識や特性の理解、特別支援教育に対する専門性を十分に備えている。

➡教職員の研修の機会として設定している「Noji 学」への教職員参加率を向上させる。
保護者向けの「Noji 学」を実施する。



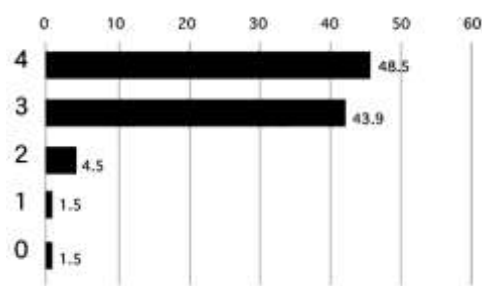
10. 本校は、適切な教育課程を編成し、指導内容を工夫した一人ひとりに合った授業が行われている。

➡保護者懇談等の機会に、学びの見通しが持てるよう教科の年間計画や単元計画などを丁寧に説明する機会を設ける。
ICT 端末を用いた個別課題選択（課題のレベル選択・学習動画視聴）、ティームティーチングを活用した補充指導、興味関心に応じた選択課題（調べ学習・発展課題）などを適宜導入する。



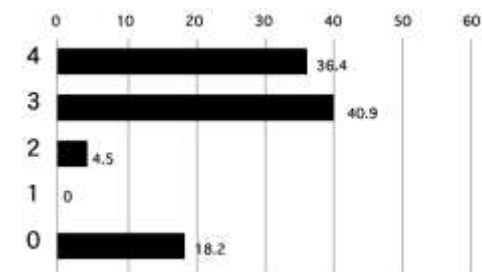
11. 本校の教職員は、一人ひとりの課題や保護者の教育的ニーズに応じた指導をしている。

➡「個別の指導計画」により学習到達度や支援方法などを学年で共有し、効果的な指導に役立てるとともに、年に5回の個別懇談で保護者の教育的なニーズを丁寧に把握する。



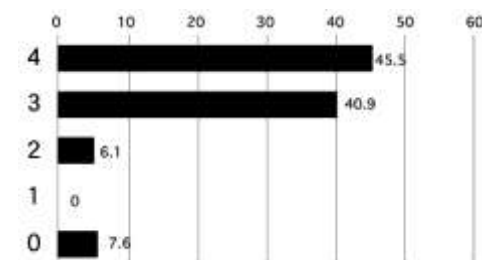
12. 本校の教職員は、各教科等の指導においてタブレットやパソコン等のICT機器を有効に活用している。

➡ほとんどの科目、授業でICT機器の活用をしているが、他の方法で授業を行う方が有効である場合もある。今後もICT機器の利活用が円滑に行えるよう、設備の保全と充実に努める。

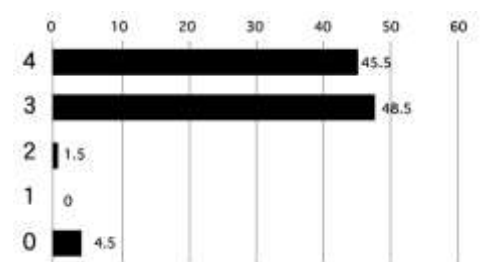


13. 本校は、個別の教育支援計画に保護者の意見や合理的配慮の内容等を記載するとともに、医療・福祉機関等の情報が反映されている。

➡懇談時に計画について保護者の意見を丁寧に聞き取り反映させ、同意を得られるようにする。

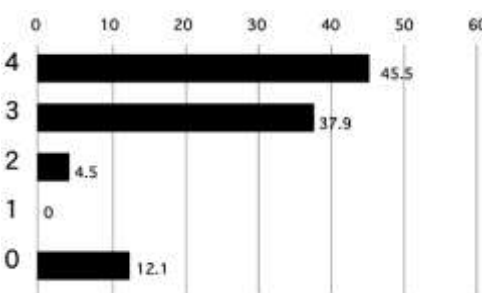


14. 保護者を対象とした説明会では、必要な情報を得ることができている。

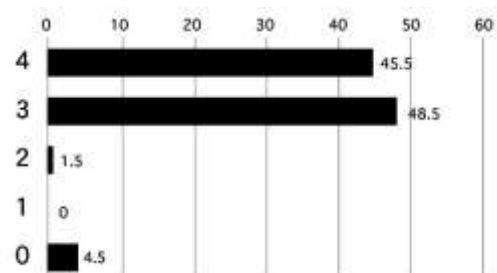


15. 本校の進路指導は、本人の適性や保護者の希望を十分に尊重して適切に行われている。

➡卒業に向けた進路の流れや卒後の進路先、身に着けたい力などについての理解が深まるよう、新たに保護者向け「進路のしおり」を作成・配付する。
進路希望調査の時期や様式の見直しをする。



16. 本校は、人権を意識した支援・指導を適切に行っている。



17. 小・中学部は、副籍校や学校間交流において、ニーズや課題に合った活動ができている。高等部では、高等学校との交流及び共同学習において、お互いの理解を深める機会となっている。

➡副籍校の意義や目的、方法などについて保護者や教職員への周知を図る。

各担当者は工夫して実施をしているが、保護者への取り組み内容等の周知を丁寧に行う。

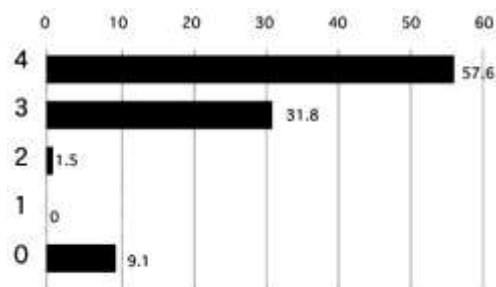
全校の学校間交流の内容を保護者へ通信等で情報提供する。



18. 本校は、栄養バランスに留意した給食を提供し、将来を見据えた栄養指導や食育が行われている。

➡給食だよりだけでなく HP 等を活用し、給食の内容や献立の写真、子どもたちの様子などを情報発信する。

保護者や教職員を対象に学校給食や食育等に関する講演会を開催する。



19. 本校は、事故を防ぐための体制や適切な医療的ケアの実施等、安心・安全な教育環境づくりができている。

